

地震等の緊急時に交通流動を確保する

緊急輸送道路における橋梁震災対策率

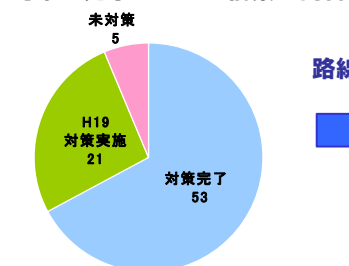
1 鳥取県の現状

- 鳥取県では、地震等の災害が発生した場合に、避難・救助活動や災害後の生活支援を確実に実施するため、第1次緊急輸送道路を指定しています。
- 第1次緊急輸送道路のうち、耐震補強が必要な橋梁は79橋あります。

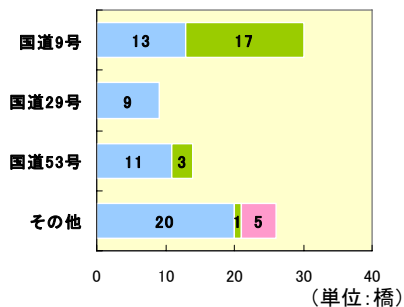
震災対策が必要な橋梁



対策が完了している橋梁の割合



路線別



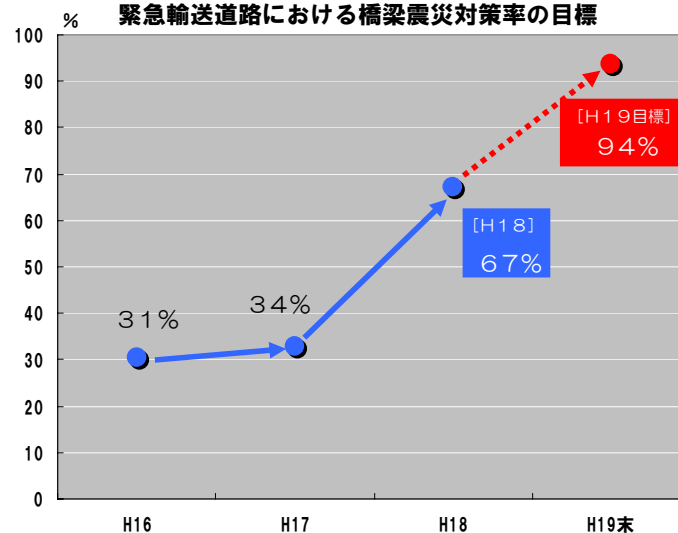
2 昨年度の成果 (達成度報告)

- 迂回路のない経路を優先に耐震補強を進めており、平成18年度については、関係機関との協議・調整が整った箇所について優先的に施工した結果、整備率は67% (53橋) になりました。

3 本年度のとりくみ (業績計画)

- 耐震補強は、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」に基づき、迂回路のない経路や中国自動車道からのネットワーク確保を優先するとの考えのもと耐震補強を実施してきました。平成19年度については、21橋の橋梁について耐震補強を実施していきます。
- よって、昨年度より協議・調整が整った21橋の橋梁において耐震補強を完了させ、アウトカム指標の目標値は、67% (53橋) に21橋を加え、94% (74橋) と設定します。

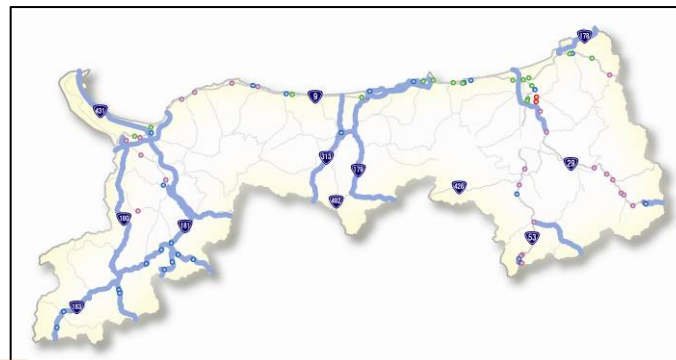
緊急輸送道路における橋梁震災対策率の目標



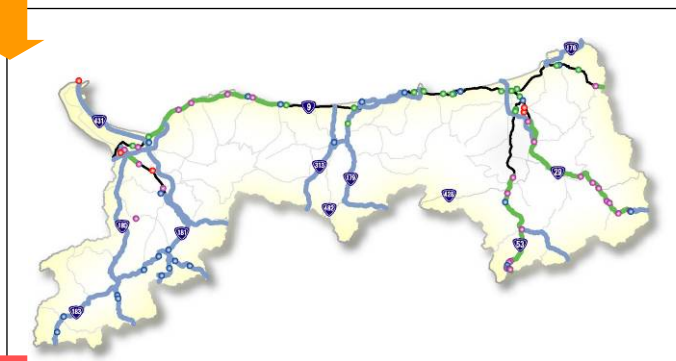


耐震補強が完了した緊急輸送ルート of 広がり

H17末



H18末



H19末
(目標)

